



菊田カルテットフォーラム

菊田エリアの歴史散歩を通し 鷺沼・津田沼・藤崎のまちを再発見

菊田カルテットフォーラムは、地区の人たちが生涯学習を通じ、生き甲斐や人づくりとまちづくりを考え、実践することを目的としています。

1昨年は7年祭がありました。11月の本祭りにむかってまちが動きました。コミュニティ単位で受け持つ祭りのドラマは、まぐわいの儀式など、600年の歴史を刻んでおります。

まちの再発見を課題に活動を開始した菊田学習圏会議カルテットフォーラムは、鷺沼、津田沼、藤崎という3つの町のコミュニティづくりがテーマです。学習をすればするほど3つの町は、その成り立ち、形態が個性化して現前し、抱える課題も自ずと異なっていることに気づきました。

学習圏会議とは何なのか。まちの連携・融合のためか、それともまちのコミュニティ活動の醸成なのか。もっともっと会議を開いて議論をしようではありませんか。

まちづくりについて何んでも話題にするのがこの会議の原点です。アイデアはかならず地域会議の中にあるはずです。まちづくりの先人たちは話し合いの中から今日のまちを築いてきました。公民館活動もこんな会議の中から育ってきました。

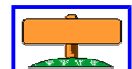
・平成11年度の活動計画

藤崎のいわれ、見事な藤棚



平成10年度活動実績

4月 7日	運営委員会
4月25日	学校5日制対応 地域の自然探索
5月 7日	運営委員会
5月 9日	母の日プレゼントづくり
6月13日	PBロケットづくり
6月18日	委員会、分担、活動計画、予算
6月27日～28日	子どもまつり
10月 8日	全体会議「学習圏会議について」
10月24日	マテバシイクッキーづくり
10月31日～11月3日	文化祭 菊田地区50年写真展
11月12日	バス見学(房総丘陵の自然と文化)
1月 7日	市内七福神めぐり
2月27日	経済講演会「老後の暮らし方」
3月26日	反省会





大久保ネットワーキング

ハミングさくらまつりからにんじんまつりへ、そして次は

市域を縦断するマラソン道路のちょうど中間点あたり、毎年、春になると桜のトンネルができ、大久保東小の入学式をはじめ、新しいスタートにふさわしい季節の訪れを知らせてくれます。

地域づくりの課題を模索し、大久保のネットワークづくりを推進する大久保ネットワーキングでは、今年、第3回目のハミングさくらまつりを実施しました。商店街の青年たちや農協、市役所、大久保公民館サークル、学校、幼稚園、そして地域へとネットワークは予想を超えた形・方向へ広がっていきます。（経過は、D-ネットで公開） ネットワーキングとは何か、何ができるか。新しい学習圏会議活動がまた動きだします。

恒例のにんじんまつりは、指定産品の人参にこだわり、毎年800人余りが参加し、楽しい一日を過ごします。人気のにんじんツアーを支えてくれるのは、一月の種まきから活動した「親子にんじんクラブ」。その後の収穫は大久保東小学校の給食や家庭で子どもたちに喜んでもらいます。JA習志野提供の無洗米はにんじんすしの試食に。高齢者の疑似体験、市のリサイクル政策、折り紙遊びなどの体験学習と今年も盛だくさんのイベントになりました。

イベントも一段落したのちは「こんな駅前広場がいいね」の学習会をします。まちづくり講座を開いたり、3・4・11号線を見聞し、様々な意見を出し合ってもらいます。

通勤通学者だけでなく老人、子ども、障害者にはほっとできる駅前広場。人参畑も見えて、買い物もできる、そんな広場で休憩を。こんな意見の具体化が今年度の目標です。ぜひ、「まちづくり講座」にもご参加ください。

・平成11年度 活動計画



にんじんまつり

10年度 主な「まちづくり講座」テーマ



- 1、住民参加のまちづくり
- 2、習志野市の防災対策
- 3、中学生は、今
- 4、介護施設視察研修
- 5、公的介護保険について

平成10年度活動実績

4月 4日～5日	第2回ハミングさくらまつり
4月10日	運営委員会「にんじんまつり」
4月24日	運営委員会「にんじんまつり」
5月19日	にんじんまつり実行委員会
5月23日	にんじんまつり
6月19日	第1回 まちづくり講座「住民参加」
7月 3日	運営委員会(3・4・11号線を歩く)
9月25日	第2回 まちづくり講座「自主防災」
10月23日	運営委員会
10月24日	親子週末クッキング
10月31日～11月3日	文化祭「25周年式、及び展示」
11月20日	九十九里文化財見学

12月18日	第3回 まちづくり講座「地域と子ども」
1月16日	農業実習 親子にんじんクラブ種まき
1月30日	第4回 まちづくり講座「介護保険」
2月 6日	大久保東少雨学校との交流
2月下旬～3月上旬	報告書の作成
3月 5日	にんじんまつり実行委員会発足
3月19日	まとめの会

[はじめにもどります](#)



屋敷学習圏会議”皆友会”

新旧の住民を結ぶスポーツ活動づくりで



以前、大雨が降ると町は水に浸った。調整池ができ、そして幹線下水道が整備され、やっと難を逃れた。そして調整池は一面のコスモス花畑、そしていまは地域の公園へかわろうとしている。

屋敷は、新旧住民の混合が著しい。何とか住民の融合がはかれないものか。思いついたのが地域スポーツ大会だ。はじめは気軽なスポーツからと、子どもにはごっこ遊び、そして屋敷には昔ながらのお囃子があった。これを引きつぐことで新しいコミュニケーションが生まれる。会議のメンバーは、いつもこんな事を考えている。先の不用になった調整池の利用もそんななかから思いついた。将来は地域の公園にしよう。行政も地域でそう考えるなら積極的な支援をするという。地域会議に提案し計画を推進しよう。そして今年、どんなイベントを計画しようか。

世代を越えた交流と人間ネットワークづくりを目指して

屋敷公民館は本市では最も小規模な公民館だが、小規模館ならではの特色がさりげなく息づいています。

つまり、地域の方々、特に子どもたちや、人生の大先輩、また、ボランティアグループ等にとって、「セカンドハウスの存在」として、よく機能しているということです。

皆友会もこうした独自性を生かし、スポーツに限らず、老若男女だれでも参加できるようなイベント等を通してコミュニケーションの輪を広げたいと考えている。

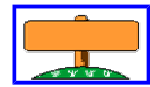
そして、よりよい人間のネットワークづくりを目指し、地域の活性化に繋がるよう努めてまいりたいと思います。

・平成11年度 活動計画

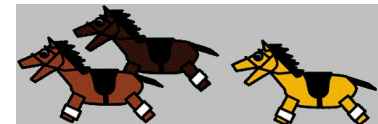
平成10年度実績

4月17日	運営委員会（年間計画 役員選出 規約の変更）
5月 8日	全体会議（役員選出 規約改正 年間計画承認）
6月13日	カーリング大会（屋敷小体育館）
7月17日	第2回イベント会議

8月28日	全体会議(役員分担)
9月12日	グランドゴルフ、水とんの会
12月11日	第3回イベント会議
12月22日	全体会議(役割分担)
1月23日	カルタ大会 餅つき大会
3月 5日	11年度 事業計画
3月26日	全体会議(反省会 会計報告)



● 地域に根づくフォーラムちえのわづくり



開拓スピリットをいまに生かそう

江戸時代は牧の原。戦中は軍演習地。戦後は開拓農地。そして今は落ち着いた住宅地になった。いずれの時代もそこに暮らす住民は地域の開拓者なのだ。

江戸時代の頃は「駒止めの谷」という民話が伝えられている。全くの不毛、泥地。開拓に夢を描いた若者の悲しい物語が語り継がれる。

戦後は、入植が許され農地開拓が進められた。笹藪の大地が見事な畑に変わった。痩せた表土のためか、古老の話は、ボソボソと貧しい収穫や開墾の苦労話しか聞けない。最近では、入植の苦労話も聞けなくなってきました。

昭和40年代、畑地は急速に住宅地に転換りはじめた。そして、実花地区と名称が替わり、新しい実花コミュニティが生まれた。新しい地域まつり、盆踊り、運動会、文化祭、地域コンサート、チャリティーバザー。どんどんと新しい活動が誕生した

実花のこれからを考える実花学習圏会議”ちえのわ”で、明日の実花について語りあいましょう。

フォーラムちえのわでは、生涯学習時代に対応した地域住民の生涯学習を推進するため、公民館を拠点に住民にふさわしい生涯学習の研究・討議・実践を推進しています。

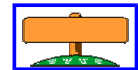


チャリティーバザー輪投げ大会

・[平成11年度 活動計画](#)

平成10年度実績

4月24日	全体会	役員改選、年間計画
5月24日	地域とのふれあい	テマリティバザーに参加
6月12日	地域を知る	偕成園・東部福祉センター見学
8月20日	ボランティア	偕成園のおそうじ
8月27日	子どもと高齢者	ゲームオリエンテーリング大会
9月11日	全体会	会議、後期活動打ち合わせ
10月29日	シンポジウム	ゴミ問題「我が家のごみ減量作戦」
11月5～7日	文化祭に参加	活動の発表
12月27日	地域の人々の活用	しめ飾りづくり
1月23日	女性フォーラム参加	展示活動
1月30日	まちづくりについて	講演「まちづくりと行政改革について」
2月23日	体験学習	バス研修「防災センター」見学
3月 4日	生涯学習について	石川隆三郎氏と懇談
3月19日	全体会	反省会、新年度計画



● 袖ヶ浦学習圏会議

まちづくり30年から出発しよう



袖ヶ浦地区学習圏会議は、30年のコミュニティ活動の成果を踏まえ、21世紀のまちづくりを3つの課題として掲げ、活動を進めていきます。

・平成11年度 活動計画



1. <福祉部会> 高齢化へ前向きに対応しよう

やさしさの心をつなぐ袖ヶ浦

助け合う心の通う袖ヶ浦

習志野市の高齢化率は、11・3%(H11・4・1現在)

袖ヶ浦東地区の高齢化率は、24・3%

袖ヶ浦西地区の高齢化率は、11・1%

市内で最も高齢化が激しく、しかも少子化進行も著しい。

高齢化に対する正しい認識と、福祉の主軸である介護保険制度について学習しよう。

私たちの袖ヶ浦には、独居の方、高齢者夫婦(80才以上)、障害者、入院、通院の方が大勢います。福祉部会では、皆さんの不安、悩みことの相談相手になれるよう心がけています。それぞれの制度ボランティアに声をかけて下さい。あなたの側で話し合える人、頼りになれる隣

人も含めて、皆で大きなネットワークの中で支えあっていきたいものだと思います。福祉部会としては、高齢化への対応は言葉ではなく、「やささと行動力」だという思いで取り組んでいます。

2、<子ども部会>子どもの健全育成をしよう

(1)子どもに関わるネットワークをつろう

週休2日制や子どもの学校週5日制に伴い、新しい子どもの活動を育てよう。

「豊かな心」を育むために、子どもに関わる人々・地域の諸団体・公民館が連携して、ネットワークに取り組もう

(2)中・高生の「DABANDA」をつくろう。

地域での季節行事などに、中・高生の知恵と力を生かし、未来の担い手を育てよう。

(3)親も成長しよう

親同士、共に学び、交流を深め、子どもと一緒に成長しよう。

3、<公園部会>近隣公園ルネッサンス(写真は公園でのワークショップ)

西近隣公園を地域の公園として再生させようとするもの。計画のコンセプトは、文化性に重点を置いたルネッサンス計画。

地域のコミュニケーションを豊かにする「場」を提案。

(1)公園の運営管理について

地域住民の手で”共有財産”として管理維持していくための運営方法について、各地の公園視察を通じて事例研究を推進していこう。

(2)公園のあり方について

コミュニティーガーデンに必要な木、草花の研究

(3)袖ヶ浦みどりの楽講への参画

地域のひとみんなで楽しむ庭＝コミュニティーガーデンを実際に作りながら、みどりが豊かな暮らしづくり・まちづくりについて学習しよう。

リニューアルの基本方針

1、地域コミュニティのシンボル

2、人とひとの会おう場、老若男女さまざまな人の交流の場、憩いの場

3、公民館活動との連携

4、地域イベントが開ける場を提供

5、袖ヶ浦の歴史を伝える

6、自然とのふれあい

4、情報化に対応しよう

平成11年3月に袖ヶ浦図書分館が廃止となり、情報室になりました。

地区の図書活動の今後をどう発展させたらよいか。

市の情報化構想であるCATVネットワーク計画とは何か。地域での学習を展開していこう。

平成10年度活動実績

(運営委員会)	6月 6日	運営委員会(年度計画)
	7月 4日	運営委員会(部長選出)
	9月 5日	運営委員会(公園説明会)
	11月 8日	運営委員会(公園音量測定)
	11月25日	運営委員会(屋外ステージ)
	3月 3日	運営委員会(反省会、まとめ)
(全体会)	5月23日	活動計画
	9月12日	中間報告
	3月 6日	まとめ 反省会 新年度へ
(イベント)	10月22～25日	文化祭参加 活動展示
	12月 6日	チャリティーバザー協力

(地域子ども部会)	7/11 11/7 12/5 12/12 12/20 1/9 1/17 1/31 2/6	部会活動計画 家庭教育講演会 年末行事 家庭教育講演会 門松づくり どんど焼き 豆まきりハーサル 節分豆まき行事 新年度に向け
(公園整備部会)	5/9 6/13 7/11 11/8 2/20	視察 説明会 現地説明会 音量測定 音量測定
(高齢化対応部会)	11/18 11/28 3/20 3/27	高齢者保育所交流 健康セミナー「歩く」 反省会 健康セミナー「薬」

文集編集委員会から

袖ヶ浦のまちが誕生し、全国からの新しい住民が入居して30年が経過した。その間育まれた様々なコミュニティ活動を記録として残し、次世代への引継ぎ、そして将来のまちづくりの礎にしようと企画、展開されたのが袖ヶ浦30年の記録編集委員会の活動でした。地域から100編を越える様々な随想、記録がよせられ、昨年2月、記録集として発刊しました。今後も地域の文集づくりを推進したいと考えています。

[はじめにもどります](#)



谷津ローズフォーラム

谷津の新しいまちづくり研究

ローズフォーラムは、谷津地区に世界中のバラの品種を集めたバラ園があり、四季折々の開花に多くの方がここを訪れ、また、近くの谷津干潟の渡り鳥観察等、谷津を象徴するにふさわしい、と会議参加者の話し合いで決めました。

フォーラムは、他地区で行われている学習圏会議と同様、地域課題をどう捉え、解決するか、地域の知恵を持ち寄り案を策する会議です。

1昨年、コミセンが開設され、カルチャー型サークルが移り、残留したサークルは、サークル連協を再編し、サークルの地域的な責任(活動の地域還元)を果たすべく文化祭準備にはいりました。学習圏会議も谷津のアイデンティティを問いながら、谷津地区の公民館活動の充実を願い、積極的な会議活動を推進していきたいと考えております。

地域再発見、自分たちでつくる街づくり

谷津ローズフォーラムは「楽しく学ぼう・友達増やそう」を合い言葉に平成10年度で5年目をむかえ、現在38名の会員が「視察・イベント部会」「福祉・街づくり部会」「子ども部会」「生きがい部



会」にわかれて活動しています。

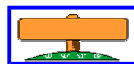
「自分たちの住んでいる谷津の街をもっと知りたい、そしてそのためには私たちは何をすればよいのだろうか～楽しい街、美しい街にしたい」ということで「福祉・街づくり部会」では平成9年度に「干潟に学ぶ」と題して自主学習会を行ってきました。谷津干潟観察センターにおいて干潟や野鳥について学ぶだけでなく、「わが街の再発見をしよう」と、公民館から歩いて干潟センターまでかよっています。

ローズフォーラムではその他に各学習会、イベントの企画・運営やバス研修を積極的に開催しています。

・平成11年度 活動計画

平成10年度活動実績

4月10日	役員会(年間計画)
4月24日	役員決め
6月 4日	バス研修 松戸市の歴史視察
6月～12月	谷津干潟について学ぶ 干潟の歴史 干潟に来る鳥 干潟の環境
8月 1日	子ども部会「なつ、あそぼ」
10月 8日	いきがい部会 「私の生きがい銚子の染物」
11月 4日	わくわく散歩
12月19日	子ども部会「クリスマス」
1月22日	街づくり講演会
3月17日	反省会
3月24日	サークル研修「公民館で学ぶ」



新習志野学習圏会議

生涯学習まちづくりを推進しよう

まちができて15年。開発については、袖ヶ浦の開発教訓を生かしまちづくりに取り組んだと市行政は語る。確かにまちづくりの構造は、袖ヶ浦に比してゆったりとし、公共施設もほぼ完備。暮らし方の豊かさは住民次第ということだろうか。学校も充実し、地域活動が芽生え、コミュニティ活動として形態化してきたようだ。国の教育改革である生涯学習化について秋津小が

研究指定をうけてから、生涯学習のまちづくりが推進されるようになった。

新習志野学習圏会議は、こういった状況の中でスタートした。キーワードは当然に生涯学習だ。住民が目的意識をもったくらしづくりから住民全体のまちづくりへ、新しいライフスタイルの創造である。

これを課題に、新しいコミュニケーション、まちづくりのはじまりだ。



ここは、ケッコウなまちと鳴きましょう

人生80年代の時代に入って行く中で、長い老後をどのように展望し、安心して暮らせる施策をいかに講じていくかが課題となっている。その中で12年度に介護保険制度の実施が予定されており、それに対応するための基盤整備として当地区に新総合福祉ゾーン整備計画が具体化してきております。

香澄公園は、豊かな都会の森

・平成11年度 活動計画

平成10年度活動実績

5月29日	自己紹介、活動状況及び課題報告 年間計画検討
6月26日	習志野市の高齢者施策と在宅福祉サービス
7月25日	介護保険制度と準備状況
8月 1日	ゆうごう1周年記念フォーラム
9月18日	特別養護老人ホーム偕成園見学
10月31日	新総合福祉ゾーンの整備計画
11月20日	高齢者ケアとヘルスステーション
12月11日	研修成果を踏まえてのトーキング
2月12日	生涯学習フェスティバル実行委員会
3月13日	第6回 生涯学習フェスティバル開催

